

令和3年度（2021年度）  
地域連携センター事業報告書





## ◆令和3年度（2021年度）地域連携センター事業報告書

1. 岩手県盛岡市「文京区学生と創るアグリイノベーション事業」  
■盛岡市役所、跡見学園女子大学、東京大学、東洋大学、拓殖大学
2. 八王子実践高等学校×拓殖大学「高大連携講座」（2年生対象）
3. 内閣府地方創生支援事業  
「地方と東京圏の大学生対流促進事業」（4年目最終年度）  
■山梨県立大学、拓殖大学
4. 中部横断道開通に伴う山梨・静岡地域の活性化に向けた取組  
■山梨県富士川町、NEXCO中日本八王子支社、山梨県立大学  
静岡英和学院大学、拓殖大学
5. 滝山地区まちづくり活動支援  
住民と学生の協働による地域愛着を育む取り組み通じて  
■大学コンソーシアム八王子、NPO法人滝山城跡群・自然と歴史を守る会、拓殖大学
6. 八王子城跡の魅力を高めるデザインプロジェクト  
■特定非営利法人 八王子城跡三ッ鱗会、八王子市教育委員会、拓殖大学
7. 第28回美濃和紙あかりアート展  
■美濃市役所、美濃市観光協会、美濃市商工会議所、拓殖大学他
8. 「出前研究室」事業の参加校拡充にむけた取組  
■大学コンソーシアム八王子、八王子商工会議所、拓殖大学
9. 都立八王子桑志高等学校との高大連携について
10. eスポーツを活用した地方創生プロジェクト  
■新潟県三条市NPO法人ソーシャルファームさんじょう

### 〈参考〉

- ・高尾登山電鉄株式会社「社員英語研修」への講師派遣（継続事業：4年目）
  - ・長野県上田市鹿教湯温泉フィールドサーベイ（魅力発見プロジェクト）
- ※上記のプロジェクトについては、新型コロナ感染拡大の状況等を踏まえ、講師及び学生の現地参加が見送られた。



## 1. 岩手県盛岡市「文京区学生と創るアグリイノベーション事業」

### [I] 事業概要について

- (1) 研究テーマ：道の駅を拠点とした地域経済循環の仕組みの構築
- (2) 研究概要：令和5年度に盛岡市では初めての道の駅が玉山地域に設置予定で、周辺住民の方々より地域の産業振興拠点として期待されている。共同研究では、道の駅で主力商品となる地域の農畜産物の高付加価値化を通じ、意欲的な農業生産者の生産活動を支援するため、流通から販売までの一連の経済活動における、消費者と生産者の双方向プラットフォームとして道の駅を機能させ、地域経済を循環させる仕組みを、文理融合的視点から共同研究し、持続可能な農業の姿を検討する。
- (3) 参画大学の研究テーマ  
跡見学園女子大学：「首都圏を対象としたもりおか短角牛の  
販路拡大に向けた商品開発・PR活動の推進」  
東京大学：「玉山地域の農業課題分析と振興策の検討」  
東洋大学：「先駆的な農業経営体の経営分析」  
拓殖大学：「玉山地区特産品「雁喰豆」の生産性向上及び販路拡大の検討」

### [II] 事業実施に向けた取組、会議等

#### 《第1回事務連絡会議》

- (1) 日時：令和3年4月13日（火）15時30分～
- (2) 議題：第1回拓殖大学と包括連携協定に関する協議（zoom会議）
- (3) 出席者：盛岡市 市長公室企画調整課係長 牧野英恵、主任 皆川幸将  
盛岡市 玉山総合事務所農政商工係長 佐々木努、主事 高原庸輔、  
主任 勝又洗樹  
拓殖大学 八王子事務部長 上條聡視、八王子総務課長 斉藤俊章、  
八王子総務課 鷗木則夫

#### 《第1回研究・支援に係る協議等》

- (1) 日時：令和3年5月13日（木）15時30分～
- (2) 議題：◆現時点の各種事業進捗状況について  
◆旅行手配業務委託の進捗について  
◆旅行手配の体制及びスケジュールについて  
◆包括連携協定の協議状況について  
◆各大学の進捗について（Teams会議）
- (3) 出席者：盛岡市 玉山総合事務所農政商工係長 佐々木努  
主事 高原庸輔  
主任 勝又洗樹  
拓殖大学 商学部教授 田嶋規雄、工学部教授 前山利幸、  
工学部教授 佐々木整、八王子総務課 鷗木則夫

《第2回研究・支援に係る協議等》

- (1) 日 時：令和3年6月28日(月) 13時～
- (2) 議 題：◆盛岡市の進捗状況報告  
◆拓殖大学の進捗状況報告  
◆今後の進め方について (T e a m s 会議)
- (3) 出席者：盛 岡 市 玉山総合事務所農政商工係長 佐々木努  
主事 高原庸輔  
主任 勝又洗樹  
拓殖大学 商学部教授 田嶋規雄、工学部教授 前山利幸、  
八王子総務課長 斉藤俊章、八王子総務課 鶴木則夫

《第3回研究・支援に係る協議等》

- (1) 日 時：令和3年8月5日(木) 14時30分～
- (2) 議 題：岩手県盛岡農業改良普及センター担当者へのヒアリング  
◆盛岡市事業概要説明  
◆営農指導に係る概要説明(普及センター下河原氏)  
◆調査の方向性に係る説明(拓殖大学工学部前山教授)  
◆その他(質疑応答) (T e a m s 会議)
- (3) 出席者：岩手県盛岡農業改良普及センター産地育成課農業普及員 下河原智  
盛 岡 市 玉山総合事務所農政商工係長 佐々木努  
主事 高原庸輔  
主任 勝又洗樹  
拓殖大学 商学部教授 田嶋規雄、工学部教授 前山利幸、  
工学部教授 佐々木整  
工学研究科機械・電子システム工学専攻博士前期課程  
2年 小國治也(前山研究室)  
工学部電子システム工学科4年 鈴木謙信(前山研究室)  
工学研究科情報・デザイン工学専攻博士前期課程  
2年 嵩下里菜(佐々木研究室)  
工学部情報工学科4年 高田健晴(佐々木研究室)  
八王子総務課 鶴木則夫

《第4回研究・支援に係る協議等》

- (1) 日 時：令和3年9月16日(木) 13時30分～
- (2) 議 題：◆雁喰豆生産者を対象としたヒアリング(z o o m会議)  
◆その他
- (3) 出席者：(株)雅ファーム代表 日野杉 雅彦  
盛 岡 市 玉山総合事務所農政商工係長 佐々木努  
主事 高原 庸輔  
主任 勝又 洗樹

拓殖大学 商学部教授 田嶋 規雄  
工学部教授 佐々木 整  
工学部教授 前山 利幸  
工学部電子システム工学科4年 鈴木謙信（前山研究室）  
工学部研究科情報・デザイン工学専攻博士前期課程  
2年 高下里菜（佐々木研究室）  
八王子事務部長 上條 聡視、八王子総務課長 齊藤 俊章、  
八王子総務課 戸塚 範子、八王子総務課 鶴木 則夫

《第5回研究・支援に係る協議等》

- (1) 日 時：令和3年9月30日（木）15時30分～17時20分
- (2) 会 場：ウェブ会議ツールを使用したリモート会議（Zoom会議）
- (3) 議 題：「文京区学生と創るアグリイノベーション事業実施状況報告会」
- (4) 趣 旨：平成31年2月に締結された文京区との友好都市協定を契機として、区内4つの大学と連携し、フィールドワーク等の調査・連携活動を通じた玉山地域の農業資源の掘り起こしと大学の知見を活かした農業の発展を目的とした産官学連携事業である。今回の実施状況報告会では、各大学から調査の進捗状況を報告することで、今後の円滑な調査活動に向けた相互交流の場とする。
- (5) 出席者：盛岡市：特別職 政策統括特別参与 熊谷 俊彦  
市長公室 企画調整課東京事務所所長 佐藤 明彦  
〃 副所長 藤谷 徹  
交流推進部 文化国際課課長 猿舘 賢治 主事 深澤 優輝  
農林部部長 小笠原 康則 次長 佐藤 篤  
〃 農政課農政企画係長 伊勢 賢二  
〃 副主幹兼経営支援係長 高橋 充 主事 菊地 知樹  
玉山総合事務所 産業振興課課長 工藤 貢  
〃 副主幹兼農政商工係長 佐々木 努 主任 勝又 洗樹  
〃 主事 高橋 直人……………（計14名）  
東京大学：大学院農学生命科学研究科助教 武田 麻里  
大学院生 5名 農学部学生 1名……………（計7名）  
東洋大学：産官学連携推進課課長補佐 早瀬 信行  
経済学部総合政策学科教授澁 澤健 太郎  
〃 学生7名……………（計9名）  
跡見学園女子大学：地域交流センター長 土居 洋平  
観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科准教授 篠崎 健司  
〃 助教 新垣 夢乃  
〃 学生6名……………（計9名）  
拓殖大学：地域連携センター長兼副学長 山田 政通  
八王子事務部長 上條 聡視 八王子総務課 鶴木 則夫

総合企画部部长 荒砥 和美 広報室課長 高橋 智仁  
商学部経営学科教授田嶋規雄 学部生 2名  
工学部情報工学科教授 佐々木 整 大学院生・学部生 2名  
工学部電子システム工学科教授 前山 利幸  
大学院生・学部生 2名…………… (計 14名)

- (6) 発表内容：ア 調査テーマ・概要説明  
イ 調査・研究に係る仮説  
ウ 調査対象・調査事項  
エ 現時点で把握できた事項  
オ 今後の調査・研究の進め方  
カ その他必要な事項

(7) 発表時間：15分程度／大学

(8) 参画大学の研究テーマ

- ①跡見学園女子大学：「地域コミュニティデザインの視点から見た  
もりおか短角牛の現状と振興策の検討」
- ②東京大学：「玉山地域の農業課題分析と振興策の検討  
中山間地域等直払制度の更新に伴う  
協働意識・生産活動の変化他」
- ③東洋大学：「先駆的な農業経営体の経営分析  
夏イチゴ：すずあかね販路拡大・レシピコンクール他」
- ④拓殖大学：「玉山区特産品「雁喰豆」の生産性向上及び販路拡大の検討」  
・前山研究室：雁喰豆の栽培  
・佐々木研究室：雁喰豆の自動選別  
・田嶋ゼミ：雁喰豆のパッケージ刷新

《第6回研究・支援に係る協議等》

文京区学生と創るアグリイノベーション事業－玉山地域現地視察（フィールドワーク）

(1) 日時：令和3年11月29日（月）～30日（火）

(2) 用件：

- ① 雁喰豆生産者（雅ファーム代表 日野杉雅彦氏）農場視察（29日・30日）  
② 玉山総合事務所内環境測定センサー設置作業（30日午前）  
③ 包括連携協定締結に係る企画調整課との打合せ（30日午後）

(3) 出張者：

・工学部教授 佐々木整 ・八王子総務課 鶴木則夫

(同行学生)

工学部電子システム工学科4年 鈴木謙信（前山研究室）

工学研究科情報・デザイン工学専攻博士前期課程2年 嵩下里菜（佐々木研究室）

工学部情報工学科4年 高田健晴（佐々木研究室）

(4) 訪問先：

- ① 盛岡市役所玉山総合事務所産業振興課、市長公室企画調整課



② 雁喰豆生産者（雅ファーム代表 日野杉雅彦氏）農場

◆雁喰豆刈取り：初めてコンバイン運転



※大学院2年嵩下里菜さん

◆環境測定機器設置：めんこいテレビ取材



※電子工学4年鈴木謙信君

《第7回研究・支援に係る協議等》

文京区学生と創るアグリイノベーション事業－玉山地域現地視察（フィールドワーク）

(1) 日時：令和3年12月15日（水）～16日（木）

(2) 用件

雁喰豆・煮豆パッケージ変更プロジェクトのため、商学部田嶋ゼミより4年生2名により現地を視察し、パッケージ案創出の参考とすること。 [雁喰豆]

(3) 出張者

- ・商学部教授田嶋規雄  
(同行学生)
- ・商学部経営学科4年 兼子春菜
- ・商学部経営学科4年 熊木悠希子



(4) 訪問先

- ① 雅ファーム代表日野杉雅彦氏農場
- ② 南部黒平豆販売者「賢二の土株式会社」産直ショップ イオン渋民店 恵一握
- ③ 県産品アンテナショップ運営者・岩手県産株式会社の店舗

《第8回研究・支援に係る協議等》

◆文京区学生と創るアグリイノベーション事業 第3回事業実施協議

(1) 日時：令和4年2月9日（水）10時～11時

(2) 場所：リモート（Zoom）による会議

(3) 会議出席者：盛岡市役所係長佐々木努、主事高橋直人、主事高原庸輔  
拓殖大学 商学部教授田嶋規雄、工学部教授前山利幸

(4) 議題：① 令和3年度文京区学生と創るアグリイノベーション事業期末報告会  
について

② 令和4年度取組について

《要約：報告会について》

盛岡市：令和3年度の最終報告会は対面で実施することで準備を進めているが、コロナ禍の中で報告会の実施方法等については、3月上旬に判断する予定である。実施について各大学の意見をとりまとめている。とままり次第連絡する。

拓殖大学：

- ・現状では学生を伴う課外活動は行えない状況であり、報告会の開催日が3月29日を予定されているが、この日は卒業生の入社式や入社に伴う引越し等もあり、発表会へは遠隔で参加し発表する学生は、このプロジェクトを引き継ぐ予定の学生となる可能性がある。
- ・教職員に関しては、許可をとり出張することは可能であるとする。

《要約：新年度の予定について》

盛岡市：令和4年度の学生向け（旅費）の予算措置が出来ている。盛岡への来盛時期はいつ頃を予定しているか。

拓殖大学：

- ・新4年生の就職活動と引き継ぎを考え夏季休暇中と考えている。
- ・令和4年度の最終報告会は、3月初旬に開催していただきたい。
- ・拓殖大学は、3月15日に大学院修了式、23日に学部卒業式が行う予定であることと、企業によっては3月末に入社式を行うことを伝えた。

《第9回研究・支援に係る協議等》

◆跡見学園女子大学・拓殖大学と盛岡市との連携・協力に関する包括協定合同締結式

(1) 日 時：令和4年3月24日（木）11時30分～12時

(2) 場 所：跡見学園女子大学文京キャンパス2号館9階ラウンジ

(3) 出席者：① 文京区

・成澤廣修区長

② 盛岡市

- ・谷藤裕昭盛岡市長・熊谷俊彦政策統括特別参与
- ・古館和好市長公室長・後藤敏弘玉山総合事務所長
- ・佐藤明彦市長公室参与東京事務所長

③ 跡見学園女子大学

- ・笠原清志学長・次期学長子仲信孝・曾田修司副学長
- ・坪原紳二観光コミュニティ学部長
- ・土居洋平地域交流センター長・渡邊泰教事務局長
- ・篠崎健司観光コミュニティ学部准教授

④ 拓殖大学

- ・鈴木昭一学長・山田政通副学長
- ・工学部教授前山利幸・工学部教授佐々木整
- ・荒砥和美総合企画部長・上條聡視八王子事務部長

(4) 協定の内容

① 協定の名称

- ・跡見学園女子大学：盛岡市と跡見学園女子大学との連携・協力に関する包括協定
- ・盛岡市と拓殖大学との連携・協力に関する包括協定

② 連携項目（両大学とも同じ）

- ・産業及び文化の振興に関すること。
- ・交流人口の拡大に関すること。
- ・人材育成及び学術振興に関すること。
- ・地域課題の解決に関すること。
- ・その他目的を達成するために必要な事項に関すること。

《第10回研究・支援に係る協議等》

「令和3年度文京区学生と創るアグリイノベーション事業 成果 報告会」

(1) 日 時：令和4年3月29日（火）13時～16時30分

(2) 場 所：オンライン開催

(3) 本学出席者：山田政通副学長、前山利幸工学部教授、佐々木整工学部教授、田嶋規雄商学部教授、上條聡視八王子事務部長  
※佐々木整工学部教授のみ現地参加

(4) 次 第：

① 主催者挨拶

② 文京区学生と創るアグリイノベーション事業概要説明

③ 各大学より進捗状況報告

・拓殖大学

「玉山地区特産品「雁喰豆」の生産性向上及び販路拡大の検討」

発表者：工学部電子システム工学科4年 鈴木謙信（前山研究室）

テーマ：雁喰豆生産におけるIoT活用方法の研究

工学部情報工学科4年 高田健晴（佐々木研究室）

テーマ：AIによる雁喰豆の自動選別に関する調査

商学部国際ビジネス学科4年 渡邊智也（田島ゼミ）

テーマ：雁喰豆の消費拡大・生産振興を目的とした煮豆のパッケージ提案

・跡見学園女子大学

「地域コミュニティデザインの視点から見たもりおか短角牛の現状と振興策の検討」

・東京大学

「玉山地域の農業課題分析と振興策の検討」

中山間地域等直払制度の更新に伴う協働意識・生産活動の変化他」

・東洋大学

「先駆的な農業経営体の経営分析夏イチゴ：

すずあかね販路拡大・レシビコンクール他」

④ 全体講評

## 2. 八王子実践高等学校×拓殖大学「高大連携講座」（2年生対象）

### [1] 高大連携講座

《第1回高大連携講座開講：令和3年4月24日（土）9時20分～12時30分》

○授業出席者67名全員出席

○1限目（ZOOMによる授業）

①担当教員：工学部准教授 小島和枝

②講座名：「楽しく学んで Improve Your English Skills!」

③講座テーマ：「英語で挨拶をしよう！」

○2限目（ZOOMによる授業）

①担当教員：商学部講師小田貴子

②講座名：「楽しく学ぶ口頭表現の技法」

③講座テーマ：「話す以前に大事なこと」他、声の出し方、日本語の発音について等

※コロナにより遠隔授業となり授業時間は多少短縮された。

《第2回高大連携講座開講：令和3年5月15日（土）9時00分～12時30分》

○授業出席者61名 ZOOM 授業受講者6名

※講座担当教員（小島先生・小田先生）が八王子実践高等学校を訪問し対面授業を実施。

○1時限目英語講座テーマ：「英語教育の重要性ーカンボジア英語教育について」

○2時限目国語講座テーマ：「話の聞き方・笑顔の大切さ」

30秒&60秒トーク：「最近あった楽しいこと／

私の好きなこと」口の体操・舌慣らし体操など

※講座の開講回数を第3回から第2回に変更。

《第3回高大連携講座開講：令和3年5月29日（土）9時00分～12時30分》

○授業出席者61名 ZOOM 授業受講者4名 欠席者2名

※講座担当教員（小島先生・小田先生）が八王子実践高等学校を訪問し対面授業を実施。

○1時限目英語講座テーマ：「観光客増加は良いこと？ベネツィアから考える」

○2時限目国語講座テーマ：「話のまとめ方①-自分の特徴について」

30秒&60秒トーク：「自分の特徴について」

口の体操・舌慣らし体操など

《第4回高大連携講座開講：令和3年6月5日（土）9時20分～12時30分》

○授業出席者63名 ZOOM 授業受講者2名 欠席者2名

○1時限目英語講座テーマ：「美とは何？」

○2時限目国語講座テーマ：「話のまとめ方②-呼びかけフレーズゲーム」

30秒&60秒トーク：「キドニタテカケシ衣食住」

※講座は初めて八王子国際キャンパスA511教室で対面授業を実施。

◆キャンパス登校風景：A館前



◆授業風景：A511教室



《第5回高大連携講座開講：令和3年6月12日（土）9時20分～12時30分》

○授業出席者56名 ZOOM授業受講者5名 欠席者5名

※講座受講生67名の内、1名が転校した旨連絡あり。

○1時限目英語講座テーマ：「東京オリンピック」

○2時限目国語講座テーマ：「スピーチ発表：「キドニタテカケシ衣食住」

他、マスコミの話・私がアナウンサーになるまで

口の体操・舌慣らし体操など

《第6回高大連携講座開講：令和3年6月19日（土）9時20分～12時30分》

○授業出席者59名 ZOOM授業受講者4名 欠席者3名

○1時限目英語講座テーマ：「オリンピックの歴史」

○2時限目国語講座テーマ：「自分のスピーチを客観的に見てみよう！」

スピーチを見ての感想とアドバイス、口の体操・舌慣らし

体操他、日本語の特徴-鼻濁音と無声化について

《第7回高大連携講座開講：令和3年6月26日（土）9時20分～12時30分》

○授業出席者62名 欠席者4名

○1時限目英語講座テーマ：「海外でのコロナワクチン接種促進を進めるものは？」

○2時限目国語講座テーマ：都合により休講

《第8回高大連携講座開講：令和3年9月4日（土）9時20分～12時30分》

○授業出席者33名 ZOOM授業受講者29名、欠席者4名

○1時限目英語講座テーマ：「世界で幸せな国とは？（1）」

○2時限目国語講座テーマ：「敬語①-基礎編」

これまでの復習、口の体操・舌慣らし体操など

※講座は、小島先生大学キャンパスで対面授業、小田先生はZ o o m授業を実施。

《第9回高大連携講座開講：令和3年9月18日（土）9時20分～12時30分》

○授業出席者36名 ZOOM授業受講者28名 欠席者2名

- 1時限目英語講座テーマ：「世界で幸せな国とは？（2）」
- 2時限目国語講座テーマ：「敬語②-敬語を使って他己紹介に挑戦！その①」  
30秒&60秒トーク：「この夏の1番／9月」  
口の体操・舌慣らし体操など

《第10回高大連携講座開講：令和3年10月2日（土）9時20分～12時30分》

- 授業出席者64名 欠席者2名
- 1時限目英語講座テーマ：「フィンランドの刑務所」
- 2時限目国語講座テーマ：「敬語③-敬語を使って他己紹介に挑戦！その②」  
30秒&60秒トーク：「秋・秋の自覚」  
口の体操・舌慣らし体操など

《第11回高大連携講座開講：令和3年10月9日（土）9時20分～12時30分》

- 授業出席者61名 欠席者5名
- 1時限目英語講座テーマ：「ハロウィンの歴史と現在」
- 2時限目国語講座テーマ：「敬語④-まとめ」他  
おかしな日本語表現の話、口の体操・舌慣らし体操など  
30秒&60秒トーク：「敬語と若者ことばについて」

《第12回高大連携講座開講：令和3年10月16日（土）9時20分～12時30分》

- 授業出席者51名 欠席者15名
- 1時限目英語講座テーマ：「飛び級制度について」
- 2時限目国語講座テーマ：「プレゼンテーション①-説明-」  
言葉と非言葉コミュニケーションの話  
グループ分けゲーム Gワーク：「八王子実践高校の良いところ」話し合い早口言葉など

《第13回高大連携講座開講：令和3年10月23日（土）9時20分～12時30分》

- 授業出席者63名 欠席者3名
- 1時限目英語講座テーマ：「留学するならどこ？」
- 2時限目国語講座テーマ：「プレゼンテーション②-発表と録画」  
Gワーク：「八王子実践高校の良いところ」  
話し合い早口言葉など

《第14回高大連携講座開講：令和3年11月6日（土）9時20分～12時30分》

- 授業出席者62名 欠席者4名
- 1時限目英語講座テーマ：「世界のゴミ処理問題」
- 2時限目国語講座テーマ：「プレゼンテーション③-録画を客観的に見てみよう！」  
発表ビデオを見た感想とアドバイス  
実践の先生方の講評、早口言葉など

《第15回高大連携講座開講：令和3年11月20日（土）9時20分～12時30分》

○授業出席者60名 欠席者6名

○1時限目英語講座テーマ：「アメリカにおけるフードロスについて」

○2時限目国語講座テーマ：「個人プレゼンテーションに挑戦！

発表と録画－流行語大賞について」他

早口言葉、保護者・実践高校の先生からの感想など

※八王子実践高校保護者の連携講座見学会実施：見学会参加保護者5名

《第16回高大連携講座開講：令和3年11月27日（土）9時20分～12時30分》

○授業出席者62名 欠席者4名

○1時限目英語講座テーマ：「英語で映画を見る－Grave of the fire flies」

○2時限目国語講座テーマ：「まとめ－[個人プレゼンテーションを見てみよう] 他  
言葉のポジティブUp！「聞く」を考える

早口言葉に挑戦など

《第17回高大連携講座開講：令和4年1月15日（土）9時10分～12時10分》

◆留学生交流授業（高校を訪問し交流授業実施）

○授業出席者64名 欠席2名

○韓国留学生3名（女子）

・国際学部国際学科1年李多演

・外国語学部国際日本語学科2年金玟廷

・国際学部国際学科2年李恩智

○授業内容：1. 母国紹介

(1) 国旗・地図・面積・人口・宗教・言語・民族構成等自国の基礎知識

(2) 世界で1番なこと・他国の人に自慢できること

(3) 社会問題（改善すべきところ）

(4) 母国の高校について（日本の高校との相違点等）

(5) その他（日本との意外な関係）

2. 発表者の日本留学の理由

3. 母国語で簡単な挨拶、韓国を題材とした生徒との〇×クイズ

4. 質疑応答

◆留学生との交流会（韓国留学生）



◆留学生と各グループの交流



《第18回高大連携講座開講：令和4年1月29日（土）8時50分～12時40分》

◆留学生交流授業（新型コロナウイルス感染拡大のためリモートによる交流会）

○授業出席者62名出席 欠席者4名

○ベトナム留学生4名（女子）

- ・外国語学部国際日本語学科 1年 DUONG THI PHUONG NHI
- ・外国語学部国際日本語学科 1年 HA KIM MI
- ・国際学部国際学科 3年 DINH THI MINH
- ・国際学部国際学科 3年 PHAM THI THUY TRANG

○授業内容：1. 自己紹介

- (1) 名前・学部・学科・学年等の基本情報
  - (2) 日本に留学した理由・目的
  - (3) 日本に来て驚いたこと・悲しかったこと・嬉しかったこと等
  - (4) 自分の好きなことについて
  - (5) その他
2. ベトナムの基本情報等の紹介
3. ベトナムの高校生について紹介
4. ベトナムに関するビデオを見てクイズ大会

《第19回高大連携講座開講：令和4年2月5日（土）8時50分～12時30分》

◆留学生交流授業（新型コロナウイルス感染拡大のためリモートによる交流会）

○授業出席者65名出席 欠席者1名

○マレーシア留学生5名（男子）

- ・工学部機械システム工学科3年 AHMED RAZEEQ DANIEL BIN AHMED KAMAL
- ・工学部機械システム工学科3年 MUHAMMAD ADAM HAKIMI BIN A HAMDAN
- ・工学部電子システム工学科3年 MUHAMMAD ALIEF SYAMEER BIN ROSMAN
- ・工学部電子システム工学科3年 MUHAMMAD RAZIQ BIN ZAKARIA
- ・工学部デザイン学科3年 AHMAD RIFAIE BIN NAZRI

○授業内容：1. 自己紹介

- (1) 名前・学部・学科・学年等の基本情報
  - (2) 日本に留学した理由・目的
  - (3) 日本に来て驚いたこと・悲しかったこと・嬉しかったこと等
  - (4) 自分の好きなことについて
  - (5) その他
2. マレーシアの基本情報等の紹介
3. マレーシアの有名人・人気アニメ等について紹介他

《第20回高大連携講座開講：令和4年2月19日（土）9時～11時》

◆高大連携講座（最終授業）

※当初、文京キャンパス見学会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のためリモートによる授業に変更した。（講師の持ち時間各45分）



- 授業出席者 66名出席
- 1時限目講師：山田政通副学長  
講座テーマ：「異文化体験のすすめ」
  - (1) 山田の異文化体験談
  - (2) 異文化理解とは－体験から理解へ
  - (3) Q&A
- 2時限目講師：工学部小島和枝准教授  
講座テーマ：「アメリカ滞在・体験記：コロナ禍での生活」

[2] 1年生対象高大連携講座説明会

- ①開催日 令和3年7月17日(土)
  - ②時間 9時～12時05分
  - ③場所 八王子国際キャンパスC101教室・C102教室
  - ④対象者 1年生186名
- ※当日の参加者内訳
- ・八王子国際キャンパス来校者172名 ・ZOOM参加者12名 ・欠席者2名
  - ・実践高校引率者 9名
  - ・大学関係者 14名
- ⑤主旨 総合進学コースの1年生に対して次年度(2年生に進級時)のクラス選択(国際教養クラス、先進科学クラス、総合教養クラス)の参考として、本学が受け持つ国際教養クラス選択時の講座内容等について説明する。

◆1年生対象説明会

英語-小島講師



実践高校卒業生-政経学部4年大島君



[3] 高大連携講座に係る打ち合わせ

- ① 令和3年4月17日(土) 9時10分～
- 八王子実践高等学校高大連携講座実施に向けた登下校練習  
登下校練習参加者65名を予定していたが、新型コロナウイルス感染者が出たことから練習を中止した。

② 令和3年4月21日（水）15時30分～

○第1回高大連携講座実施に向けたZoom授業等に係る

担当教員による事前打ち合わせ（Zoom会議）

①参加教員：八王子実践高等学校 16組担任 金子健人、学年主任 武田明日香

拓殖大学：工学部准教授 小島和枝、商学部講師 小田貴子

②会議内容：講座受講クラスにコロナ感染者がでたため、学級閉鎖となったことから、  
大学での対面授業を中止しZoomによる授業に切り替えた。

③ 令和3年9月18日（土）9時30分～11時（A館5階ゼミ室）

○令和4年4月開講予定の3年生を対象とした連携講座に係る打ち合わせ

◆出席者：《八王子実践高等学校》

校長補佐 三宅 慎太郎 教頭 小出 幸彦 教務部長 風間 正彦

入試広報部副主任 諸江 吉則

《拓殖大学》

常勤理事 井上 信康 地域連携センター長 山田 政通

八王子事務部長 上條 聡視 八王子総務課長 斉藤 俊章

八王子総務課 鶴木 則夫

◆講座名称：「文理融合で学ぶグローバル社会」

◆講座開設に向けた検討事項

- ・連携講座の回数について
- ・連携講座の定員について
- ・講座のシラバスについて

④ 令和3年9月30日（木）10時30分～12時（文京キャンパス）

○令和4年4月開講予定の3年生を対象とした連携講座に係る打ち合わせ

◆出席者：《八王子実践高等学校》

校長補佐 三宅 慎太郎 教頭 小出 幸彦 入試広報部副主任 諸江 吉則

《拓殖大学》

常務理事 河田昌一郎 常勤理事 井上 信康

◆検討事項

令和4年度新3年生の授業について

- ・講座回数、成績評価等

⑤ 令和3年11月27日（土）12時20分～12時50分

◆出席者 実践高校 諸江吉則先生

拓殖大学 斉藤俊章八王子総務課長 八王子総務課 鶴木則夫

◆確認事項

- ・令和4年度2年生の授業について
- ・令和4年度3年生の授業について
- ・令和3年度3学期の授業について

### 3. 内閣府地方創生支援事業「地方と東京圏の大学生対流促進事業」 (4年目最終年度)

《令和3年度プロジェクト》

(1) まちづくり合同ゼミ「新しい地方創生のカタチづくりプロジェクト」

①授業科目名 山梨県立大学：地域実践入門Ⅰ・Ⅱ、地域理解演習Ⅰ・Ⅱ  
拓殖大学：徳永達己ゼミナール（2年～4年合同）

②担当教員 山梨県立大学 国際政策学部准教授 杉山涉  
拓殖大学 国際学部教授 徳永達己

(2) 芦川活性化えんさプロジェクト

①授業科目名 山梨県立大学：地域実践入門Ⅰ・Ⅱ、地域理解演習Ⅰ・Ⅱ、  
国際政策課題演習Ⅰ・Ⅱ

拓殖大学：デザインプロジェクト・演習

②担当教員 山梨県立大学 国際政策学部准教授 安藤勝洋  
拓殖大学 工学部教授 工藤芳彰

《プロジェクト連絡会議》

(1) 令和3年度第1回対流事業関係者連絡会議

①日 時：令和3年4月28日（水）17時～18時（Meet 会議）

②議 題：・今年度のプロジェクトについて

- ・今後の事業実施に関する意見交換
- ・その他

③出席者：山梨県立大学

- ・国際政策学部教授 安達義道（地域研究交流センター長）
  - ・国際政策学部教授 安藤勝洋、国際政策学部准教授 杉山 涉
  - ・社会連携課 藤原恵里主事、三科美月法人職員
- 拓殖大学
- ・国際学部学部長 徳永 達己、国際学部教授 竹下 正哲
  - ・工学部教授 工藤 芳彰、工学部准教授 永見 豊
  - ・八王子総務課 鶴木 則夫

(2) 令和3年度第2回対流事業関係者連絡会議

①日 時：令和3年10月4日（月）15時～16時（Meet 会議）

②議 題：・今年度のプロジェクトの状況について

- ・来年度以降の本事業について
- ・その他

③出席者：山梨県立大学

- ・国際政策学部教授 安達義道（地域研究交流センター長）
- ・国際政策学部教授 安藤勝洋、国際政策学部 准教授 杉山涉
- ・社会連携課 守重洋良課長、藤原恵里主事、三科美月法人職員

拓殖大学

- ・国際学部学部長 徳永 達己 ・工学部教授 工藤 芳彰
- ・八王子総務課長 斉藤 俊章 ・八王子総務課 戸塚 範子

(3) 対流事業成果報告会

①日 時：令和4年2月17日（木）14時～16時15分

②場 所：Zoomによるオンライン会議

③出席者：山梨県立大学

- ・教員：安達義道教授、安藤勝洋教授、杉山涉准教授
- ・職員：保坂陽一事務局長、藤原恵里主事、三科美月
- ・学生：8名

：拓殖大学

- ・教員：徳永達己教授、工藤芳彰教授
- ・職員：上條聡視八王子事務部長、阿部一徳、鶴木則夫
- ・学生：15名

④今年度の各プロジェクト成果発表

- ・拓殖大学国際学部徳永ゼミ  
「まちづくり合同ゼミ新しい地方創生のカタチづくりプロジェクト」
- ・拓殖大学工学部工藤研究室  
「芦川活性化えんさプロジェクト」:
- ・講演：NPO法人スペースふう理事 長池伸子  
「リユースお弁当箱がつかなく地域デザイン」
- ・山梨県立大学国際政策学部総合政策学科4年金子莉佳子  
「モモハナでの商品開発の取組について」
- ・山梨県立大学国際政策学部総合政策学科4年小沢萌歌  
「甲府でのリノベーション事業の取組について」
- ・意見交換会
- ・毎日新聞社記者中根正義による研究事例発表

#### 4. 中部横断自動車道開通に伴う山梨・静岡地域の活性化に向けた取組

《第1回大学関係者打ち合わせ》

①日 時：令和3年5月4日（火）15時～16時15分

②場 所：管理研究棟2階ミーティングルーム

③議 題：中部横断道開通に伴う山梨・静岡地域の活性化に向けた取組について

④出席者：商学部准教授 中嶋嘉孝 国際学部教授 徳永達己 八王子総務課 鶴木則夫

(1) 関係機関

- ・山梨県富士川町 ・NEXCO中日本八王子支社 ・拓殖大学

(2) 経緯

今年9月中部横断自動車道開通に伴い、NEXCO中日本八王子支社より高速道の開通効果、山梨・静岡の交流活性化の促進について相談を受けた。

(3)概要

中部横断自動車道開通（中央道双葉JCT～新清水JCT延長74.3km）に伴い、新東名高速道路と中央自動車道が接続され、静岡・山梨・長野との連携・交流を促進すると共に、物流体系の確立や広域的な地域活性化、観光ゾーンの開発、支援を行うものである。

(4)取組状況

山梨と静岡の地域間交流のすすめ方及び高速道路SAに設置された「道の駅」の利用・沿線地域の活性化に向けた取組等について、NEXCO中日本八王子支社と検討を進めている。また、高速道路の開通を多くの人に知ってもらうために11月頃を目途に富士川町主催により「道の駅」富士川でシンポジウムの開催に向けた準備を関係者間で調整中。

《第2回関係者打ち合わせ》

〔第1部：地場の特産品を利用した商品開発について〕

①日 時：令和3年8月4日（水）9時30分～10時20分

②場 所：いち柳ホテル応接コーナー

③出席者：・いち柳ホテル代表取締役 保坂直樹

山梨県立大学

・国際政策学部准教授 杉山渉

拓殖大学

・国際学部長 徳永達己 ・商学部准教授 中嶋嘉孝・八王子総務課 鶴木則夫

〔第2部：山梨県富士川町長他との面談〕

①日 時：令和3年8月4日（水）10時30分～11時15分

②場 所：富士川町役場町長室

③出席者：富士川町

・富士川町長 志村学 ・副町長 齋藤靖 ・政策秘書課長 早川竜一

・政策秘書課政策推進担当リーダー 秋山博之 政策推進担当主事 関麻友子

山梨県立大学

・国際政策学部准教授 杉山渉

拓殖大学

・国際学部長 徳永達己 ・商学部准教授 中嶋嘉孝・八王子総務課 鶴木則夫

④議 題：・中部横断自動車 道開通に伴う山梨・静岡地域の活性化に向けた取組について

・富士川町×拓殖大学包括連携協定締結

5周年記念シンポジウム開催について

〔第3部：シンポジウム開催に向けた関係者との打ち合わせ〕

①日 時：令和3年8月4日（水）11時30分～12時30分

②場 所：富士川町役場南館会議室

③出席者：富士川町

・政策秘書課政策推進担当リーダー 秋山博之 政策推進担当主事 関麻友子  
山梨県立大学

・国際政策学部准教授 杉山渉

拓殖大学

・国際学部長 徳永達己 ・商学部准教授 中嶋嘉孝・八王子総務課 鶴木則夫

〔第4部：道の駅富士川でシンポジウム開催に向けた関係者との打ち合わせ〕

①日 時：令和3年8月4日（水）13時30分～14時30分

②場 所：道の駅富士川会議室

③出席者：道の駅富士川

・副支配人 志村廣文

山梨県立大学

・国際政策学部准教授 杉山渉

拓殖大学

・国際学部長 徳永達己 ・商学部准教授 中嶋嘉孝・八王子総務課 鶴木則夫

《道の駅富士川における来店客調査》

①調査日：令和3年11月21日（日）・23日（火）

②担当教員：商学部准教授中嶋嘉孝

③同行学生：12名（中嶋ゼミ生5名、徳永ゼミ生7名）

④調査目的：令和4年2月シンポジウム開催に向けて、中部横断自動車道開通に伴う変化を確認するための来店調査を行う。

⑤活動内容と成果：道の駅富士川では、山梨県農政部長農政総務課主催、静岡県経済産業部マーケティング課協力において、パイ・ふじのくに「つながる市」in 道の駅富士川として、静岡県の海産物、お茶等の物産展が開催された。このイベントに合わせ8月に開通した中部横断自動車道の道の駅富士川への影響等を調査した。当日は道の駅開業以来最大の来店客を記録、約300人にアンケート調査を実施した。

《静岡英和女子大学川崎ゼミとの研究会：シンポジウム開催に向けた事前調査活動》

①開催日：令和4年1月7日（金）

②担当教員：商学部准教授中嶋嘉孝、国際学部教授徳永達己

③同行学生：7名（中嶋ゼミ生4名、徳永ゼミ生3名）

④調査目的：地域の活性化を研究する中嶋ゼミ、徳永ゼミ及び静岡英和学院大学川崎ゼミが合同で勉強会を開催し交流を図る。また、富士川町と中部横断自動車道の開通に伴う、静岡側の動きをつかむため静岡産業大学の小泉先生の講義を受けた。

## 5. 滝山地区まちづくり活動支援

《住民と学生の協働による地域愛着を育む取り組み通じて》

(1) 団体名 国際学部授業科目：国際特別講座「実践のまちづくり」

担当教員：徳永・藍澤、実践のまちづくり（滝山班）

(2) 背景と社会課題

市内北部の滝山地区は、都内唯一の道の駅「道の駅八王子滝山」や日本遺産を構成する「滝山城址」を有している。道の駅は賑わっており、城址は本年が築城 500 年にあたり主に滝山城跡文化協会や滝山の自治会連合会などにより保全事業が進められている。一方、八王子駅から離れていることや少子高齢化の影響も受け、地域の衰退化も徐々に進行している。

(3) これまでの活動の経緯

地域の活性化を目指し、拓殖大学実践のまちづくり（滝山班）では、一昨年より地域関係者と私達学生の協働による滝山地区のまちづくり活動を開始した。前回は「よみがえれ！滝山城城下町～歴史お散歩コース」と題し、平成 30 年度・本事業補助金も得て、滝山を訪れる人や地域の住民に対して地区の魅力を伝えるため、道の駅から城址に至る谷地川周辺ルートのお散歩マップ作成と周辺環境の整備（歩道の草刈り）を実施した。同マップは観光客や住民が訪れたいくなるような名所スポットの紹介し、自治会などの地域関係者に配布され好評であった。

本年は滝山城築城 500 年にあたり、地域も盛り上がりを見せ始めている。そこで、昨年はコロナ禍の影響で活動が出来なかったが、一昨年に作成したお散歩マップも活用して、さらに活気ある地域づくりを目指した活動を展開する。

(4) 活動の概要

私達がこれまでの活動で感じたことは、滝山は魅力ある場所が極めて多いものの、地域資源を有効に活用していないのではないかと、ということだ。様々な環境保全活動は NPO 法人滝山城跡群・自然と歴史を守る会（守る会）等により行われている。

しかし予算や地域住民の参加者の不足により、かならずしも十分な環境整備や情報発信は行われていない。なにより、地域資源の重要性に対する理解不足により、地域の人の活動参加が限定的であることも課題だと考える。

そこで本年は、一昨年の活動で作成した「お散歩マップ」を活用し、地域活性化を目指した活動を展開する。地元の子どもの対象に現地の守る会とも協働し、未来を担う子どもたちが地域の魅力に気づく契機とする。

《令和 3 年度学生企画事業補助金実績報告（自由企画部門）》

(1) 主催 大学コンソーシアム八王子

- (2) 概要 大学コンソーシアム八王子加盟校の学生が、八王子地域を舞台として、企画・運営・実施するイベントやプロジェクトに対し、大学コンソーシアム八王子が費用の一部を補助するもの。
- (3) 参加大学 拓殖大学、創価大学、多摩大学、サレジオ工業高等専門学校、中央大学  
東京家政学院大学
- (4) 報告会 令和4年2月20日(日) 13時30分～17時15分
- (5) 拓殖大学の活動内容
- ① 事業名：滝山地区まちづくり活動支援  
(住民と学生の協働による地域愛着を育む取組)
- ② 実施期間：令和3年5月1日～令和4年1月31日
- ③ 実施場所：八王子市立加住小学校、都立滝山公園
- ④ 事業内容：滝山は魅力ある場所が極めて多いものの、地域資源を有効に活用しておらず、様々な環境保全活動はNPO法人滝山城跡郡・自然と歴史を守る会等により行われている。しかし、予算や地域住民の参加者不足により十分な環境整備や情報発信が行われていない。そこで滝山築城500年の節目に当たる今回の活動は、地域の人たちが地域資源に直接触れ合うことで地域に対する理解と愛着を育む機会とすべく、自治会連合会、地元団体の活動に学生が協働して、地域を盛り上げる様々なイベントを住民と一緒に企画・立案し実行していく。
- ⑤ 事業を振り返り  
企画の計画や準備不足もあり、住民との関係性に希薄差が目立った。これらを踏まえ、地域住民を尊重した事業を展開していくことを前提に企画を綿密に練ること、地域の方が望む活動を展開していくことが重要であることが解った。

## 6. 八王子城跡の魅力を高めるデザインプロジェクト

- (1) 担当教員：工学部デザイン学科教授 工藤芳彰
- (2) 位置付け：八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課、およびNPO法人八王子城跡三ッ鱗会との公学民連携プロジェクト
- (3) 活動主体：CDS (Community Design Supporters) 11名+「デザインプロジェクト・演習」工藤担当課題選択者2名ー合計13名
- (4) 活動概要：令和2年度の引き続き、文化庁・日本遺産認定ストーリーの筆頭文化財に位置付けられる八王子城跡に着目し、当地を「地域コミュニケーション・ハブ」として利活用していくための基盤づくりとして、魅力を向上させるデザイン提案に取り組んだ。高尾駅北口からバスで10分という好位置と連携先である文化財課職員や三ッ鱗会メンバーによる支援、「禁三密」の



状態を取りあい屋外活動などを背景に、結果として9つのデザイン提案を報告書にまとめることができた。提案のいくつかは、関係者からの高い評価を得て、後述の協定締結に結びついた。

(5) 活動成果：提案のうち御城印2種については、準公式版として扱われることが決定しており、さっそく三ッ鱗会でのポストカード化が予定されるなど、今後の利活用が決定している。また、AR（拡張現実）技術によるアプリケーション3種については、「桑都日本紀伊産遺産センター八王子博物館（はちはく）」の展示の一部として採用され、来場者を楽しませている。

(6) 本年度の展開：

三者連携に加え、学生チャレンジ企画の奨励金を得て、新たなデザイン提案および実践に取り組み、上記のとおり目に見える成果を得ることができた。また、前年度の提案の一つ、実物大の兜になる折り紙「おりかぶと」が同館公式グッズとして発売され、新聞取材を受けるなど関係者の注目を集めた。

(7) 「八王子城趾の魅力を高めるデザインプロジェクト」における協定締結

①協定締結日：令和3年12月1日

②協定締結者：(甲) 拓殖大学工学部デザイン学科 コミュニティデザイン研究室  
教授 工藤 芳彰

(乙) 特定非営利法人 八王子城跡三ッ鱗会

理事長 金子 真一

(丙) 八王子市教育委員会

教育長 安間 英潮

③目的：「八王子城趾の魅力を高めるデザインプロジェクト」を実施するにあたり、甲・乙及び丙は、協働の理念のもと、相互理解及び相互協力・連携の観点に立ち、各々の役割分担に応じ事業を遂行する事を目的とする。

## 7. 第28回美濃和紙あかりアート展

(1) プロジェクト名：第28回美濃和紙あかりアート展作品出展及び地域交流

(2) 期間：令和3年10月9日（土）～23日（土）

(3) 目的：デザイン造形能力、地域コミュニケーション能力を身につけることを目的とし、第28回あかりアート展へ、デザイン学科生活デザインコース3年生の作品を出展する。本学は、2003年（平成15年）より参加し数多くの入賞・入選を果たしている。

(4) 選考結果：応募総数144点（本学応募作品24点）の中で、6点が入賞・入選を果たした。詳細は以下の通りである。

①美濃和紙あかりアート賞

・拓殖大学工学部デザイン学科 守谷 美紀 「ゆらぎ」

②ライトアップ賞（柴崎幸次賞）

・拓殖大学工学部デザイン学科 橋本 夢 「情」

③入選

・拓殖大学工学部デザイン学科 勝木 富之 「層々」

・拓殖大学工学部デザイン学科 齊藤 花怜 「芽吹」

・拓殖大学工学部デザイン学科 中村 伊吹 「燃ゆる」

・拓殖大学工学部デザイン学科 甲斐 湧大 「三盃」

④「あかりの町並み美濃」買い上げ

・拓殖大学工学部デザイン学科 中里 柚菜 「鳳凰」

・拓殖大学工学部デザイン学科 中野 恵 「頁をめくる」

なお、出展された作品は、うだつのあがる町並みに10月10日～23日（土）まで展示された。

(5) 成 果：今年度もコロナ禍の状況等を踏まえ、学生の現地参加が見送られた。審査の結果、応募総数144点の中からあかりアート賞1点、ライトアップ賞1点、入選4点が選ばれた。あかりアート賞はアート大賞に次ぐ賞であり、ライトアップ賞は各審査員が優秀作品を1点選ぶという何れも名誉ある賞である。この他に、各種イベントに活用する作品とするため、2点が美濃市の買い上げとなった。コロナ禍でオンライン授業の中で課題に取り組むといった難しい状況下で入賞・入選作品が生まれたことは、学生達の励みとなる成果となった。

◆うだつの上がる町並み



◆2021年 あかりアート賞



拓殖大学 守谷美紀 作品名「ゆらぎ」

## 8. 「出前研究室」事業の参加校拡充にむけた取組

《第1回打ち合わせ》

- ①日 時：令和3年4月21日（水）10時30分～
- ②場 所：管理研究棟2階ミーティングルーム
- ③出席者：[大学コンソーシアム八王子事務局]
  - ・主査 鎌田正純 ・主事 中藤広司 ・主任 福田直樹
  - [拓殖大学]
  - ・八王子事務部長 上條聡視 ・八王子総務課長 齊藤俊章
  - ・八王子総務課長補佐 杉本栄 ・八王子総務課審議役 鶴木則夫
- ④議 題：「出前研究室」事業の参加校拡充に向け

### (1) 事業の背景

八王子には20を超える大学に約10万人の学生が在籍しているが、卒業後当該地域に就職する学生は少ない。また、当該地域には大手の試作開発を支援する中小製造業や自社製品を持つメーカーが集積しているが、技術的課題を解決するために気軽に相談出来ない「大学の敷居の高さ」を指摘する声が多く聞かれる。八王子商工会議所ではこれらの問題を解決すべく、八王子市内で最初にキャンパスを開設した工学院大学と連携事業を推進する為の包括連携協定を締結し、特定の学部を超えた一体的な事業を実施出来る体制を整えた。

### (2) 「出前研究室」の現在の仕組み

工学院大学と八王子商工会議所で協定を交わし運営しており、年間20社（1社あたり2件）の相談を想定している。この取組に対し東京都から単年度補助（期間未定）を受けている。また、八王子商工会議所も「出前研究室」の拡充を目標としている。

なお、当事業はパイロット事業と位置づけ、将来的には他の市内大学へと広げていく。

### (3) 事業概要及び目的

八王子市内の中小企業（工場・事務所）に直接大学等の教員や学生が出向き、講義や技術相談等の協力を行う取組。この取組を通じて産業界と高等教育機関の交流を促し、製品開発や共同研究等を通じ地域の活性化に資することを目的とするものである。

### (4) 「出前研究室」参加による企業・大学等のメリット

- ①学生の「中小企業」への理解促進と市内中小企業への就職率の向上
- ②経営課題やニーズを相互で把握することによる産学協同研究への発展
- ③中小企業の従業員や大学の若手研究者等の人材育成

### (5) 「出前研究室」参加条件

- ①事業の趣旨である市内企業の抱える課題解決を通した「地域貢献」という目的を十分に尊重してもらえること。
- ②八王子商工会議所に加入する大学等。
  - ※「モノづくり」分野の参加校充実に取り組む。
- ③大学等に「出前研究室」の担当者を配置出来ること。
  - ※学内コーディネーターのように産学連携の窓口として、学内教員・研究情報の把握、企業相談への早期回答の対応できる人員の配置が可能であること。

※令和3年5月6日(木)16時30分、関係者の顔合わせのため八王子商工会議所を訪問することとした。

《第2回打ち合わせ》

- ①日 時：令和3年5月6日(木)16時30分～
- ②場 所：八王子商工会議所
- ③議 題：「出前研究室」の拡充企画(案)について
- ③出席者：[八王子商工会議所]
  - ・中小企業相談所所長 小野桂一 ・事務局長 高橋広昭
  - ・中小企業相談所経営指導員 木村文香  
[大学コンソーシアム八王子事務局]
  - ・主査 鎌田正純 ・主事 中藤広司 ・主任 福田直樹  
[八王子市役所]
  - ・産業振興部企業支援課 多田航  
[拓殖大学]
  - ・工学部電子システム工学科 前山利幸 ・八王子総務課 鶴木則夫

《「出前研究室」事業参加校の募集について(依頼)》

(1) 募集概要

産学公連携ワーキンググループ(産学公連携部会所属)の発案をきっかけに、八王子商工会議所と連携を行う事になり、商工会議所掌「出前研究室」事業について、コンソーシアム加盟校の参加を通じてコンソ加盟校と八王子市内企業との接点を設けることで、加盟校等の産学公連携の促進及び地域の発展・活性化へ寄与を図る。

(2) 募集依頼先

大学コンソーシアム八王子加盟校-産学公連携部会・大学等連携部会

※今回は、モノづくり系の加盟校(主に工学系)を対象に事業参加校を募る。

(3) 参加方法

「出前研究室参加希望票」を12月中に事務局へ提出する。提出を受け商工会議所、コンソーシアム事務及び参加希望校3者間で参加条件等の確認を行う。そして、事業参加が決定した場合は、商工会議者と契約を締結する。

(4) 事務局

出前研究室の事務取扱は、拓殖大学地域連携センターが行う。

《第3回打ち合わせ》

- ①令和4年1月14日(金)14時～15時
- ②場 所：八王子商工会議所
- ③議 題：「出前研究室」の本学対応方法について
- ③出席者：[八王子商工会議所]
  - ・中小企業相談所所長 小野桂一 ・事務局長 高橋広昭
  - ・中小企業相談所経営指導員 木村文香

[大学コンソーシアム八王子事務局]

・主任 福田直樹

[拓殖大学]

・工学部電子システム工学科 前山利幸 ・八王子総務課 斉藤俊章

## 9. 都立八王子桑志高等学校との高大連携について

《第1回打ち合わせ》

(1) 日 時：令和4年1月21日（金） 11時～

(2) 場 所：管理研究棟8階理事会議室

(3) 出席者：桑志高校 相田誠一校長

拓殖大学 小倉常務理事 河田常務理事 山田副学長 井上常勤理事

上條八王子事務部長 加藤八王子学務課長 宇佐美八王子国際課長

橋本学生主事

(4) 都立八王子桑志高等学校の概要

東京都の「都立高校改革推進計画」に基づく学校再編により平成19年に開校。八王子工業高校、第二商業高校を発展的に統合し、新しいタイプの学校として誕生した日本初の産業科の高校。学科は、(1)デザイン分野 (2)クラフト分野 (3)システム情報分野で構成され、「夢と志を持って……」を学校標語とし、応用から基礎まで徹底的にそれぞれの学習ベースに合わせた指導を行い、進路実現させるための実力を生徒一人ひとりが身に付けることを目標にしている。

(5) 打ち合わせ内容

桑志高校は、日本初の産業科の高校で、デザイン分野、クラフト分野、システム情報分野で構成され、「もの作りから流通まで」をコンセプトとしている。

これを受け、本学工学部等との協力体制を整え高大連携に向け、キックオフミーティングを行うこととなった。本学各担当者より、地域連携センターの活動内容、工学部ORANGE CUP、留学生作文コンクール等について説明し、今後は地域連携センターを中心に協力体制を整えるべく検討を進めていくこととした。

## 10. eスポーツを活用した地方創生プロジェクト

(1) 担当教員：商学部准教授 松橋崇史

(2) 訪 問 日：令和3年11月28日（日）

(3) 訪 問 先：新潟県三条市下田地区

(4) 訪問目的：新潟県三条市下田地区では、地域活性化を目的としてNPO法人ソーシャルファームさんじょうが様々な活動を展開している。今回は、現地で開催するeスポーツ大会の運営支援を目的に、現地で活動を続けて学生が現地を訪問し、午前中と午後のイベントの支援を行うと共に、一部のイベントにブ

レーヤーとして参加した。

(5) 現地での活動内容と成果

午前中は、地元住民にeスポーツに関心を持ってもらうためのイベントを実施しており、学生はその運営支援を行い、途中からイベントにプレーヤーとして参加した。

午後は、インターネット経由で他の地域のeスポーツ選手も参加するイベントを開催し、その運営携わった。10名程度の選手に交じって地元の選手も参加し、本格的なイベントが開催され、イベントに係わったことが学生にとり「学び」があった。地方の中山間地域にある下田地区では、地元に来訪者を増やし交流人口の増加を図ることは簡単なことではない。eスポーツはオンライン上で開催されることから、物理的な距離を克服する方法として注目を集めている。今回は初回開催ということでNPO法人ソーシャルファームさんじょうに取って手探りの中での開催であったが、今後、今回得た知見を活かして様々な取組を展開して行く予定である。学生の支援によってイベント運営も円滑に進んだことに対し主催者より謝意をいただいた。

(6) 参加学生

- ・商学部4年 今井麻結
- ・商学部3年 多田涼太郎

《参考》

拓殖大学社会連携・社会貢献の方針

拓殖大学は、大学は公共的役割を担う存在であるとの重要性を認識し、積極的に大学情報を国内外に発信すると同時に大学が有する教育・研究の成果、各種施設、ネットワーク等の知的・物的資源の社会への還元を進めていく。

拓殖大学は、これまでも社会の要請に応えるべく、社会連携・社会貢献や国際社会への協力・貢献にも目を向け、種々の施策を進めてきた。

具体的には、大学間及び高大連携、自治体との共催や連携の講座開設、区民や市民大学への講座科目の提供、本学の特色を生かした海外派遣・公開講座・資格取得講座の開設、また、地域社会との連携を目指しての地域行政機関への協力、企業との連携、地域の各種イベントやスポーツ大会を通じた本学学生・外国人留学生と地域住民との交流、教育施設や運動施設の開放などである。

さらに、学生の海外地域活性化プロジェクト参加やボランティア活動参加が、将来の社会の担い手となる学生の国際性や公共へ寄与する意識の醸成に有意義であることから、引き続き推進していく。

また、社会連携・社会貢献を含め教育・研究の展開には、その裏付けとなる財政基盤の確立・充実は不可欠であり、拓殖大学の自主的財源の確保の観点から、その経済的支援の拡大にも努めていく。

拓殖大学の目指す方向は、グローバル化が進展する社会において、国際的視野で地域社会の課題解決にも貢献できる「社会に開かれた国際大学」であり、地域社会と共生し、地域社会から信頼される存在となることである。

◎「拓殖大学地域連携センター」について

本学の教育・研究成果の知を基盤として国内外の地域社会との交流及び活性化に貢献すること、また、学外諸機関とも連携して学生の実践的学修に資することを目的として、平成30年4月1日に八王子国際キャンパスに設置致しました。

尚、同センターの主な事業は、下記の通りです。

1. 地域社会及び学外諸機関との連携・交流・協働に係る活動の推進に関する事項
2. 地域社会及び学外諸機関との連携に係る協定作業に関する事項
3. 地域社会の課題等についての調査・研究に関する事項
4. センターの情報発信に関する事項
5. その他センターの目的を達成するために有益な事項

◎令和3年度地域連携センター会議委員

- |     |        |           |                 |
|-----|--------|-----------|-----------------|
| 1.  | センター長  | 学 長       | 山田政通            |
| 2.  | 副センター長 | 国際学部教授    | 佐原隆幸            |
| 3.  | 委 員    | 商学部准教授    | 松橋崇史            |
| 4.  | 〃      | 政経学部教授    | 山本尚史            |
| 5.  | 〃      | 外国語学部准教授  | 居村啓子            |
| 6.  | 〃      | 外国語学部教授   | 近藤真宣            |
| 7.  | 〃      | 工学部教授     | 工藤芳彰            |
| 8.  | 〃      | 工学部准教授    | 永見 豊            |
| 9.  | 〃      | 国際学部教授    | 藍澤淑雄            |
| 10. | 〃      | 国際学部教授    | 徳永達己            |
| 11. | 〃      | 八王子事務部長   | 上條聡視 (事務統括)     |
| 12. | 〃      | 八王子学務課長   | 加藤秀紀 (教学関係担当)   |
| 13. | 〃      | 八王子総務課長   | 斉藤俊章 (事務担当)     |
| 14. | 〃      | 八王子学生支援室長 | 高木真一 (学生関係担当)   |
| 15. | 〃      | 八王子国課長    | 宇佐美俊之 (留学生関係担当) |
| 16. | 〃      | 八王子総務課員   | 鶴木則夫            |
|     |        | 担 当 理 事   | 河田昌一郎           |

◆事務局：八王子事務部八王子総務課





令和3年度（2021年度）地域連携センター事業報告書

令和4年6月30日発行

編集兼発行人 八王子事務部八王子総務課  
発行所 拓殖大学

〒193-0985

東京都八王子市館町 815-1

<https://www.takushoku-u.ac.jp/>

---



## 地域社会と共に



**TAKUSHOKU UNIVERSITY**

- 拓殖大学は、公共的な役割を担う存在として、地域社会と共生し地域社会から信頼される存在となるよう、地域社会が大学に何を求めているかを具体的に把握し、本学が何ができるかを検証し、地域貢献事業を積極的に展開していきたい。